

知っておきたい！

# 防災 減災 知恵袋



Vol.11 雨の強さ、イメージできますか？

みなさんは、天気予報等でよく耳にする「降水量〇〇mmの雨」というフレーズを聞いた時、どの程度の強さの雨がイメージしたことがありますか。このフレーズを聞き流している人もいないかと思いますが、日常生活や災害時の避難等の判断材料にも役立つ有益な情報になります。

気象庁では、天気予報等で表現される雨の降り方や雨の強さごとに、どのような影響が想定されるかを示しておりますので、覚えておきましょう。

問 防災安全課 内線 2134



詳細はこちら

気象庁ホームページ「雨の強さと降り方」

1時間雨量 (mm)	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 50未満	50以上～ 80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受ける イメージ	ザーザー降 る	どしゃ降り	バケツをひっく り返したように 降る	滝のように降 る（ゴーゴー と降り続く）	息苦しくなるよ うな圧迫感がある。 恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね 返りで足元が濡 れる	傘をさしていても濡れる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅)	雨の音で話し声 が良く聞き取れ ない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりがで きる		道路が川の ようになる	水しぶきであたり一面が白っ ぽくなり視界が悪くなる	
車に乗って いる場合		ワイパーを 速くしても 見えづらい	高速走行時、 車輪と路面の 間に水膜が生 じブレーキが 効かなくなる	車の運転は危険	